

社会資本総合整備計画

たけたちくとしさいせいせいびけいかく
竹田地区都市再生整備計画

平成26年3月24日

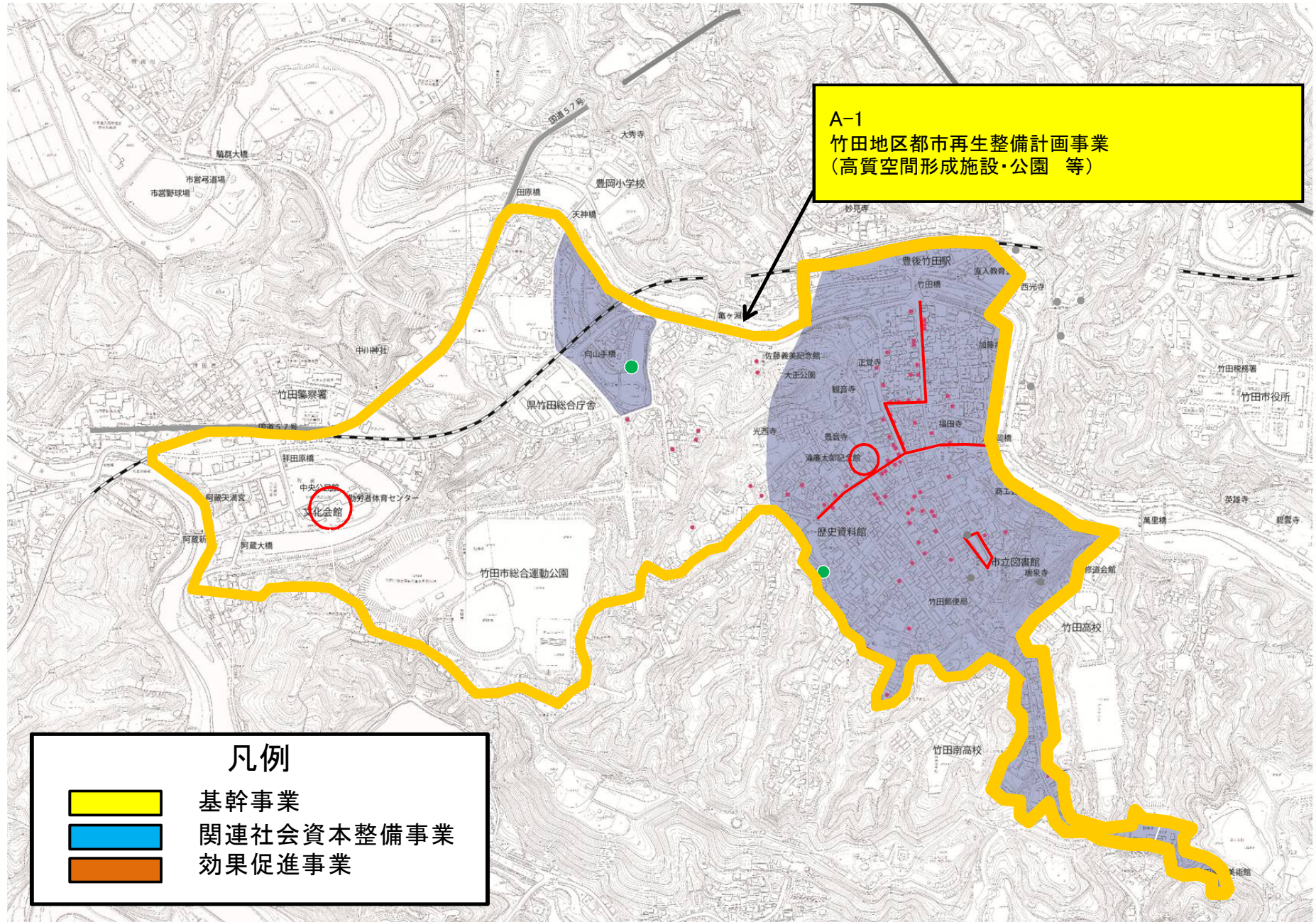
おおいたけんたけたし
大分県竹田市

社会資本総合整備計画

計画の名称	竹田地区都市再生整備計画					交付対象	大分県 竹田市								
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）														
計画の目標	<p>大目標：歴史的風致と街なみ景観の保全・活用による“魅力あふれる城下町再生まちづくり”</p> <p>目標1：恵まれた自然環境と利便性に優れた住環境の提供による「暮しいきいき永住都市の形成」</p> <p>目標2：歴史と文化に育まれた城下町の風情を活かし、「にぎわいと情緒を創出する観光交流都市の形成」</p>														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内社会人口の増加 ・中心市街地の利用機会の向上 ・地区観光客数 														
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考				
						当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)							
	住民基本台帳における城下町内居住人口を把握し、城下町内の定住促進の達成状況を把握する。					1,284人	-	1,300人							
	平成25年10月に実施した市民アンケート調査における設問「中心市街地を利用する目的」における公共施設利用者の割合を向上させる。					5%	-	10%							
	観光動態調査による地区内6つの観光施設の観光客数により、中心市街地における観光客の交流人口の変化を把握する。					204,000人	213,000人	222,000人							
全体事業費	合計 (A+B+C)	5,219.9百万円	A	5,220百万円	B	C	0百万円			効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C)	0.0%				
交付対象事業															
A1 基幹事業（市街地整備）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
A1-1	都市再生	一般	竹田市	直/間	竹田市	竹田地区都市再生整備事業	高質空間形成施設 他 112ha	竹田市						5,219.9	
合計											5,219.9				
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計											0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計											0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

(参考図面)

計画の名称	竹田地区都市再生整備計画	交付対象	大分県 竹田市
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		



都市再生整備計画

たけたちく
竹田地区

おおいたけん たけたし
大分県 竹田市

平成26年3月24日

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	竹田市	地区名	竹田地区	面積	112 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

目標

大目標:歴史的風致と街なみ景観の保全・活用による“魅力あふれる城下町再生まちづくり”
 目標1:恵まれた自然環境と利便性に優れた住環境の提供による「暮しいきいき永住都市の形成」
 目標2:歴史と文化に育まれた城下町の風情を活かし、「にぎわいと情緒を創出する観光交流都市の形成」

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【まちづくりの経緯】

- 平成13年 竹田市中心市街地活性化計画
- 平成14年 中心商店街活性化コンセンサス事業
- 平成12～16年 空き店舗対策事業
- 平成18年 竹田市総合計画策定
- 平成19年 街なか観光プロジェクト事業
- 平成18～22年 竹田地区都市再生整備計画実施
- 平成20年 竹田地区市街地活性化協議会の設立
- 平成23年～ 生き活き興起雇用創出事業
- 平成23年5月 竹田市新生ビジョン作成
- 平成25年3月 竹田市都市計画マスタープラン策定
- 平成26年5月 竹田市歴史的風致維持向上計画認定予定
- 平成28年3月 竹田市景観計画策定予定

【現況】

- ・当地区は岡藩時代から豊後地域の政治、経済、文化の中核としての役割を担い、賑わいの中に風格漂う城下町として長い間栄えてきたが、社会情勢変化やモータリゼーションの発展に伴い、中心商業地の活力が低下し、空き店舗や空き地が数多く発生している。
- ・平成12年から始めた「竹楽」は中心市街地の歴史の道沿いを中心に、里山保全を一体とした市民総参加のイベントとなり、商業の活性化やまちづくり活動の発展に繋がっている。
- ・豪雨災害による文化会館の再生、図書館の老朽化など、中心市街地内の公共公益施設の改善が急務となっており、竹田型コンパクトシティの実現に向けた好機となっている。
- ・岡城跡や歴史的街なみのPR活動により全国的な注目を浴びている状況にあり、観光客に楽しんでもいただける魅力ある中心市街地の形成が求められている。
- ・Uターン・Iターンによる定住者が増えており、田舎で暮らす魅力が見直されている。

課題

- ・城下町の重要な資産である歴史的建築物の老朽化など、歴史的風致と街なみ景観の保全・活用
- ・城下町の風情のある街並みを歩いて楽しめる場所の形成
- ・都市基盤整備や都市機能の集約による利便性の高い居住環境の形成
- ・空き地や空き店舗の発生防止に向けた商業地としての活力と魅力の向上
- ・日常生活や市民活動の拠点となる場所の形成
- ・地域住民が交流できる施設の充実による地域コミュニティの維持・形成
- ・高齢者や障害者をはじめとした誰もが利用しやすい市街地環境の形成

将来ビジョン(中長期)

- 「竹田市総合計画(たけたし活力創造計画2006)」(平成18年8月)
- ・『自然・歴史・文化を育む名水湯田園観光都市』(市街地整備関連方針)
- ・魅力ある市街地の整備(市街地整備の促進、市街地内道路整備の促進)
- ・街なみ景観整備の推進(魅力的な街なみ・家なみの形成、協働による景観づくりの推進)
- 「竹田市都市計画マスタープラン」(平成25年3月)
- (将来像)「活力に満ち、誰もが誇れる、我がまち竹田」
- (中心市街地整備方針)
- ・高校、図書館、公共交通機関等の広域を対象とした都市機能を集積
- ・U/Iターン者の増加につながる道路や公園等の都市施設の充実と商業施設や病院等の生活利便施設の誘致を推進
- 「竹田市住宅マスタープラン」(平成24年3月)
- (重点施策)
- ・農村回帰・定住促進プロジェクト/安全・安心な住まい改修プロジェクト/公営住宅等ストックの計画的活用プロジェクト
- 「竹田市新生ビジョン」(平成23年6月)
- ・「地域力」・・・“竹田らしさ”への気づき、「人間力」・・・グローバルな人材育成、「行政力」・・・世界に通用する価値の提供、「経営力」・・・政策立案能力の強化

目標を定量化する指標

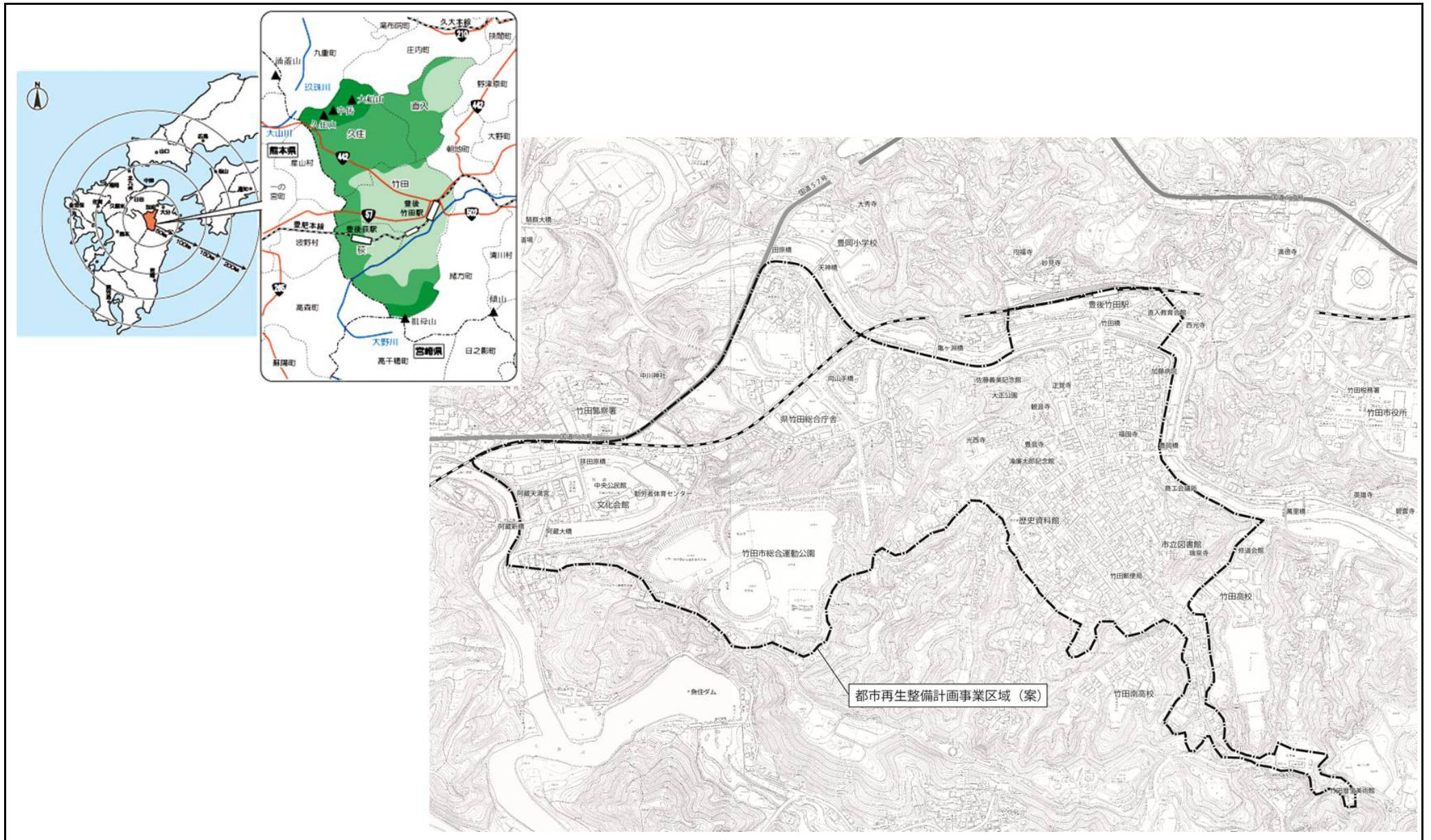
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
城下町内居住人口の増加	人/年	住民基本台帳における城下町内居住人口を把握し、定住促進の達成状況を把握する。	地区の目標である定住促進を達成する指標として、城下町内居住人口増加の達成状況を把握する。	1,284	H25	1,300	H30
中心市街地の利用機会の向上	%	平成25年10月に実施した市民アンケート調査における設問「中心市街地を利用する目的」における公共施設利用者の割合を向上させる。	当事業によって、中心市街地の公共施設の充実による都市機能の集約によって、市民の中心市街地の利用機会を向上させ、市民の交流人口の増加に寄与することが期待できる。	5.0	H25	10.0	H30
地区観光客数	人/年	観光動態調査による地区内6つの観光施設の観光客数により、中心市街地における観光客の交流人口の変化を把握する。	JR九州がJR豊後竹田駅の乗降客を1割増加させる目標を掲げており、減少傾向にある竹田地区内の観光客数についても1割増を目標とする。	204,000	H25	222,000	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○整備方針1「暮らしいきいき永住都市の形成」を実現するため、様々な都市機能の集約や都市基盤整備によって、利便性の高い居住性に優れた市街地形成を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・交流施設の再生及び施設整備による中心市街地への都市機能集約 ・地域住民のコミュニティ活動や交流できる場の形成 ・通学路を中心に誰もが安全に安心して歩行できる歩行者空間の確保 ・市街地内に点在する空き家の再生及び危険空き家の撤去を推進 ・交通弱者を支援するためのきめ細かな運行体系を構築するため、地元主体のコミュニティバス運行に向けた社会実験の実施 ・定住促進に向けた相対的な取り組み及び体外的なPR活動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ポケットパーク整備事業(基幹事業・地域生活基盤施設) ■公園整備事業(基幹事業:公園) ■駐車場整備事業(基幹事業・地域生活基盤施設) ■通り抜け路地整備事業(基幹事業・高質空間形成施設) ■街路灯整備事業(基幹事業・高質空間形成施設) ■竹田市文化会館整備事業(基幹事業・高次都市施設) ■竹田市コミュニティセンター(仮称)整備事業(基幹事業・高次都市施設) □新竹田市民立図書館建設事業(提案事業・地域創造支援事業) □空き家改修事業(提案事業・地域創造支援事業) □老朽危険空き家等除却促進事業(提案事業・地域創造支援事業) □暮らしのサポート中央センター整備事業(提案事業・地域創造支援事業) □こども保険医療福祉センター(仮称)整備事業(提案事業・地域創造支援事業) □城下町再生浄化槽管渠調査事業(提案事業・地域創造支援事業) □定住促進ビジョン策定事業(提案事業・事業活用調査) □コミュニティバス運行事業(提案事業・まちづくり活動推進事業) □定住促進PR事業(提案事業・まちづくり活動推進事業)
<p>○整備方針2「にぎわいと情緒を創出する観光交流都市の形成」を実現するため、中心市街地内における歴史や文化の維持・保全、楽しく散策できる市街地環境の形成を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な街なみを楽しく散策できる道路環境の形成 ・歴史的・文化的な街なみ景観の形成及び道路空間の創出のための事業の実施 ・観光客が安全に歩行できる歩行者空間の整備 ・地区内の散策や回遊を促す案内誘導の実施 ・街なかの賑わいの創出及び演出を行うための施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■(再掲)駐車場整備事業(基幹事業・地域生活基盤施設) ■案内看板等整備事業(基幹事業・地域生活基盤施設) ■電線類無電柱化整備事業(基幹事業・高質空間形成施設) ■道路美装化整備事業(基幹事業・高質空間形成施設) ■(再掲)通り抜け路地整備事業(基幹事業・高質空間形成施設) ■(再掲)街路灯整備事業(基幹事業・高質空間形成施設) ■岡城跡ガイダンスセンター整備事業(基幹事業・高次都市施設) □wi-fiスポット整備事業(提案事業・地域創造支援事業) □瀧廉太郎記念館改修事業(提案事業・地域創造支援事業) □空き店舗活用チャレンジショップ活用事業(提案事業・地域創造支援事業) □足湯スポット整備事業(提案事業・地域創造支援事業) □歴史資料館改修事業(提案事業・地域創造支援事業) □TSG・アートレジデンス構想構築委託(提案事業・事業活用調査) □消費者ニーズ動向調査(提案事業・事業活用調査) □“suBoca”カード地域通貨導入事業(提案事業・事業活用調査) □城下町観光遊覧事業(提案事業・まちづくり活動推進事業) □城下町きらり輝く繁盛店づくり事業(提案事業・まちづくり活動推進事業) ○伝統的建築物改修事業(関連事業) ○街なみ環境整備事業(関連事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民等によるまちづくり活動等について 平成20年に発足した竹田地区市街地活性化協議会との連携によって官民協働によるまちづくりを推進する。 まちづくりリーダー制度を導入し、まちづくりに取り組んでおり、その育成及びまちづくり活動の活性化を推進する。 市の若手職員に対するまちづくり講習会を定期的で開催し、竹田地区のまちづくり推進を全庁あげて取り組んでいる。 市民アンケート以外にも高校生や市職員に対するアンケート調査を実施し、まちづくりへの意識啓発や幅広い意向把握を行っており、今後もアンケート実施による意向把握に努める。 ○まちづくり基本計画の策定 市では、10年後の中心市街地を目指した「竹田地区都市再生まちづくり基本計画」の平成25年度中の策定を考えており、都市再生整備計画を実現化に向けた重要施策として捉えている。 都市再生まちづくり基本計画を市民及び地区住民に周知し、官民協働によるまちづくりを展開していく。 	

都市再生整備計画の区域

<p>タケタ チク オネイタ ケン タケタ シ</p> <p>竹田地区(大分県竹田市)</p>	<p>面積</p> <p>112 ha</p>	<p>区域</p> <p>大字竹田、大字竹田町、大字拝田原、大字玉来、大字飛田川、大宇会々</p>
---	-------------------------	---



竹田地区（大分県竹田市） 整備方針図

目標	大目標: 歴史的風致と街なみ景観の保全・活用による「魅力あふれる城下町再生まちづくり」	城下町内の居住人口	1,284 (人)	⇒	1,300 (人)
	目標1: 恵まれた自然環境と利便性に優れた住環境の提供による「暮しいきいき住都市の形成」	中心市街地の利用機会の向上	5.0 (%)	⇒	10.0 (%)
	目標2: 歴史と文化に育まれた城下町の風情を活かし、「にぎわいと情緒を創出する観光交流都市の形成」	地区観光客数	204,000 (人/年)	⇒	222,000 (人/年)

